

「ああそうだ、尻さ栓してくれんべ」

ど。ほして小屋さ行って藁をまるめで栓作って、今度お爺ちやお婆ちの尻さ栓しただど。したら今度尻の音がしねぐなつただど。そうして泥棒はたんすの中探して、着物だの色々な物を風呂敷さ包んで持つてんかど思つたら、そのお爺ちやお婆ちの尻が腹さ溜まつてだもんだがら、泥棒が帰つかど思つたつけが、

「ブデブデブデブデ、ブフオツ」

つって泥棒の額さその尻ささした栓が吹つ飛んで当つただど。

おつたまげで泥棒は風呂敷置いて何にも盗んねで逃げでつちまつただど。

ざつと昔栄えだ。

